

平成28年 第3回浜松市議会定例会
一般質問及び浜松市答弁

質問者 市民クラブ 鈴木唯記子

質問	答弁
<p>1 遠州灘沿岸部をビーチスポーツの聖地へ ビーチスポーツの各競技とも連盟が発足していることから、大会出場チーム数は飛躍的に増加している。 その理由として人口減少や少子化でバレーボールをはじめラグビーなど大人数で行う競技をビーチスポーツにすることにより、少人数での実施が可能となることが利点としてあげられる。 さらに国内外でビーチトレーニングに対する研究や理解が進んでいるため、予防医療・リハビリ・シーズンオフのトレーニングに取り入れられている。 そうした中、本市における約17kmの遠州灘沿岸部を「ビーチスポーツの聖地」として国内外に発信できるような整備ができないか伺う。 併せて、学校の統廃合で、今後の用途が決定せずそのままになっている廃校、例えば遠州浜小などをビーチスポーツ施設として利活用できないか伺う。</p>	<p>1 寺田文化振興担当部長 ビーチバレーがオリンピックや国民体育大会の正式競技に採用されたことから、近年、ビーチスポーツの注目度は高まっている。 本市でも、舞阪地区の遠州灘海岸を会場として、平成 16 年から継続してビーチラグビーの東海大会が開催されている。 こうしたなか、ビーチスポーツ競技者からは、常設の施設整備を望むご意見もいただいている。本市としても、競技団体の皆様から、活動実態や、付帯設備等について意見を聴いたほか、他都市の施設整備や大会誘致等の状況調査を行っている。 現時点での調査の結果では、市内に施設整備を行うのであれば、遠州灘、浜名湖などの沿岸部において、周辺スポーツ施設との相乗効果が期待できる場所に施設整備していくことが、より効果的であると考えている。 また、廃校や中山間地域における遊休資産等、沿岸部以外の施設の活用も視野に入れて検討する必要があると考えているが、まずは、詳細な現状把握と費用対効果などの分析に努め、施設整備の必要性について研究していく。</p>
<p>2 浜松城、浜松城公園周辺の整備について 他都市のお城の敷地や公園内には、売店がない場合でも横丁など街並が整備されていたり、他の施設との併設で飲食スペースがあるなど、何かしらの飲食物販店がある。</p>	<p>2 新村花みどり担当部長 (1) 浜松城公園では、平成 23 年に策定した「浜松城公園歴史ゾーン整備基本計画」に沿って、天守門や南エントランスゾーンなどの整備を着々と進めており、こうした効果もあって、平成 22 年当時 14 万人だった来城者数が、平成 27 年度は 21 万人に達するなど、5年間で約 1.5 倍近く増えており、本市を代表する観光スポットとなっている。 平成 26 年度に策定した「浜松城公園長期整備構想」では、今後の整備にあたり「歴史の継承・市民文化創造の杜」をテーマに据え、環境保全、防災などと共</p>

質問	答弁
<p>来年の大河ドラマ「おんな城主 直虎」とあわせ、対策を講ずべきと考える。</p> <p>(1) 飲食物販店の設置について</p> <p>平成 23 年2月議会で「浜松城公園内に本市の特産品などの販売や、アンテナショップ機能を備えた施設の設置に向けて前向きに検討していく」との答弁がされたことから、以下2点について伺う。</p> <p>ア 飲食物販店設置を含めた公園整備計画は現在どうなっているのか伺う。</p> <p>イ 観光客増加が見込まれる期間の、軽トラ市や朝市の開催について考えを伺う。</p> <p>(2) 徳川家康公顕彰四百年事業の活用について</p> <p>2015 年の徳川家康公顕彰四百年記念事業は全て終了している。しかし、井伊家と徳川家康の関わりも深いため継続できるものは活用してはどうかと考える。</p> <p>例えば「家康公まつり」などのイベントや、賑わいの観点からは外れるが「しゃべる！家康の散歩道」等アプリなど活用できるものはないか伺う。</p> <p>また、徳川家康公に関連する他の事業でも現在継続しているものはあるか伺う。</p>	<p>に観光拠点としての機能拡充も示している。こうした方向性の中で、観光客が記念品やお土産を購入し、飲食を楽しめる飲食物販施設は必要と考えている。</p> <p>現在の浜松城公園の飲食物販店・休憩所については、天守閣内の物販店と中央芝生広場の時計塔横にある移動式カフェスペースがあるが、平成 29 年には大河ドラマ「おんな城主 直虎」が放映されることから観光客の増加が見込まれる。このため、指定管理者と調整しながら駐車場内への仮設物販店の増設や、既存カフェスペース、ベンチ設置箇所などの休憩施設について、充実を図っていきたいと考えている。</p> <p>また、サクラや紅葉の時期には仮設飲食店やお茶のサービス、正月には甘酒のサービスなど、来客者へのサービス向上に向けた取り組みを進めていく。</p> <p>次に、2 つ目の観光客が見込まれる期間中の軽トラ市などの開催について。</p> <p>浜松城公園では、家康楽市のように賑わい創出や浜松の魅力発信をメインとした催しを毎年開催している例があるが、運営主体である民間の実行委員会が、浜松市都市公園条例に定める行為の許可を得て実施しているものである。</p> <p>今後、増加が見込まれる観光客に対しては、公園としての公益性を損なうことなく、適切な飲食物販等のサービスが提供されるよう、民間事業者の活用の前向きに取り組んでいく。</p> <p>山下観光・ブランド振興担当部長</p> <p>(2) 家康公顕彰四百年事業は、平成 27 年 1 月から 12 月までの 1 年間にわたり、家康公出生の地 岡崎市、大御所の地 静岡市、出世の地 浜松市と静岡県の 4 自治体が連携して顕彰をすすめてきた。</p> <p>顕彰事業の中では、若き家康公を可視化するため、イメージキャラクターの起用をはじめ、3D 肖像や立体しかみ像、二公像の制作、三方ヶ原の戦いのジオラマ制作など、多岐にわたる取り組みを進め、これらは、現在、浜松城をはじめとして、市内各所で展示をしている。</p> <p>また、浜松城公園では、毎年家康公祭りと家康楽市を同時開催し、家康公や直虎に関する演劇・演武の披露、出世パワーフードの販売なども行っている。</p> <p>そのほか、浜松城で毎週日曜日に実施している出世大家家康くんの定期登場も継続して行っており、4 年後の平成 32 年に控えた浜松城築城四百五十年という節目に向けた取り組みも、今後検討していく。</p> <p>なお、スマホアプリの「しゃべる！家康の散歩道」は、四百年事業限定で運用しましたが、現在、新たに家康公と直虎に関する戦国アプリを作成しており、こちらを早期に運用していく。</p>

質問	答弁
<p>3 ふるさと納税について</p> <p>平成 27 年のふるさと納税利用者数は全国で 130 万人、寄附額は 1470 億円にまで増えてきた中、残念ながら本市は平成 26 年よりも微減した。</p> <p>そこで、以下 2 点について伺う。</p> <p>(1)減少の原因について</p> <p>この結果から原因は何だったと考えるか伺う。</p> <p>(2) ガバメントクラウドファンディングについて</p> <p>「返礼品」の豪華競争が過熱している一方で「各自治体は返礼品よりも、寄附金の使い道を PR した方が、より多くの寄附を募れる」という指摘もある。</p> <p>そこで、使い道に着目したらどうかと考えるが、以下伺う。</p> <p>ア 本市へのふるさと納税の政策メニュー別実績件数・金額が、実際にはどのように使われているか。</p> <p>また、詳細について公表の意向があるか伺う。</p> <p>イ ガバメントクラウドファンディング導入など、明確な目的を定めて今後進めていく考えがあるか伺う。</p>	<p>3 松下税務担当部長</p> <p>(1) 平成 27 年度は、お礼品競争が過熱する状況に対して、いろいろな議論があった。そうした中、従来通りの取り組みにとどめたことが微減となった原因である。しかし、市民の方が他都市へ寄附することによる、税の流出増が見込まれることから、平成 28 年度から、取り組み強化に大きく転換を図った。その結果、現在、昨年同時期比で 10 倍を超える寄附実績を得ている。</p> <p>(2) 1 つ目の寄附金の使われ方と公表について。ふるさと納税の寄附金は、一般財源として整理されているが、寄附相当額に対しては、寄附した方が希望する各政策に使われている。寄附額が増大する中、寄附した方が希望する政策メニュー別の件数・寄附金額、更には政策別の寄附金が使われた事業名などについて公表を行い周知に努めていく。</p> <p>次に、2 つ目のガバメントクラウドファンディングの導入について、これは、資金調達の有効な仕組みであると共に、ふるさと納税の本来の趣旨を反映できるもの、と認識している。市として、取り上げる事業内容や活用目的などの基準、運用方法などについて、具体的に検討し取り組んでいく。</p>
<p>4 教職員の不祥事根絶について</p> <p>本年 1 月と 5 月、本市内公立学校において教職員による不祥事が起きた。今後こうした不祥事が二度と起こらないようにするために、教育委員会としての取り組みについて、以下 2 点について伺う。</p>	<p>4 花井教育長</p> <p>(1) 私は教育長就任以来、教職員による不祥事根絶を最重要課題の一つとして取り組んできた。教職員は子供たちの前に立つ職業であり、子供たちにとって憧れの存在でなければならない。その教職員が不祥事を起こすなどということは、極めて許しがたく、絶対にあってはならないことである。</p> <p>私は機会あるごとに、教職員に対して「初心」の大切さを訴えてきた。採用試験に合格し教職に就くことができた喜びや、夢と希望、使命感をもって、初めて子供たちの前に立った時の気持ちを忘れないでほしいという思いからである。そして、「初心」の文字を自ら書にし、教職員課職員が学校訪問の際に私の気持ちを伝えてきている。各学校では、この書を職員室や校長室など常に職員が目にする</p>

質問	答弁
<p>(1) 教職員の不祥事根絶と再犯防止に向けた教育長の思いについて伺う。</p> <p>(2) 教員として不適格な者が教壇に立たないよう、採用試験の受験者や講師登録に来た者に対するチェック体制はどのようなになっているか伺う。</p>	<p>るところに掲げている。 「初心」を忘れることなく、教師としての矜持を持ち日々の職務にあたることが、不祥事の根絶につながるものと考えている。</p> <p>(2) 採用試験では、採用内定者に対し教員免許状原本の提示と写しの提出を義務付け、過去に免許失効等が無かったかの確認をしている。また、講師登録者に対しても任用時に、免許状原本の提示と写しの提出を義務付け、同様の確認をしている。こうした確認に加え、他県等から採用試験を受験する者や、講師登録を希望する者に対しては、浜松市で教職に就こうとする理由を聞くと同時に、すでに勤務実績がある者については、過去の勤務状況を当時の所属校長や教育委員会に問い合わせをし、極力情報を収集し、教員として不適格な者を教壇に立たせることがないよう努めていく。</p>